



志木市長 香川 武文

な活動に参加しやすい環境をつくることは、大変重要と  
考えています。

3月に実施する「春の健康DAY」も、この取組の1つ  
です。今年は3月23日・24日の2日にわたり、健康寿命  
日本一を目指し、健康の3要素である「こころ」、「から  
だ」、「社会参加」に注目したイベントが、いろは親水公  
園と市役所を舞台に開催されます。

イベントの内容をいくつかご紹介しますと、23日・24  
日に開催される「第7回志木さくらフェスタ」は、地域の  
団体などで構成される志木市コミュニティ協議会主催の  
イベントで、模擬店やキッチンカーの出店をはじめ、中  
洲での「川辺で手ぶらBBQ」、さらには市民ボランティ  
アである船頭の案内のもと、桜を眺めながら新河岸川を  
和舟で周遊する「いろはの渡し」など、志木市の魅力と市  
民力が詰まった催しとなっています。

また、23日には、「歳と桜の中で響く『津軽三味線コン  
サート』」や、わなげやまとあてゲームを遊べる「高齢者・  
子どもふれあい広場」も開催され、さらに、24日には、  
ノルディックウォーキング・ポールウォーキングのイベン  
トとしては日本最大級である「第8回ノルディックウォー  
キング・ポールウォーキング全国大会」が開催されます。

春の健康DAYの「DAY」には、Do(～する)、Active(積  
極的な)、Yell(声援)の意味があり、「健康になるために  
積極的に活動し、声援を送ろう!」というメッセージが  
込められています。ぜひ、このメッセージを共有してい  
ただき、さまざまな催しに参加しながら、健康について  
考えるきっかけにさせていただければと思います。

## イベント参加で健康づくり!

全国的な人口減少が問題となる中、昨年12月に、国  
立社会保障・人口問題研究所が、全国の地域ごとに2050  
年までの人口を推計した「将来推計人口」を公表しまし  
た。この推計によると、志木市の2050年の人口は7万  
6,611人。令和6年2月1日時点の人口は、7万6,287人  
ですので、志木市が人口を維持していくとの推計は嬉し  
い限りです。

一方で、年齢別の人口構成に目を向けますと、高齢者  
人口の増加が顕著であり、2025年には25.0%だった65歳  
以上人口の割合は、2050年には32.1%まで上昇するとい  
う推計になっています。

こうした状況を前に、今後、高齢になっても、いつま  
でも健康で、元気に活躍していただくための取組がますます  
重要になってきます。特に、近年では「健康の社会的  
決定要因」として、コミュニティや地域活動への参加、  
人との積極的なコミュニケーションが与える健康へのプ  
ラスの影響が注目されており、市民の皆さんがさまざま